

令和2年度ごみゼロやまがた推進県民会議県民部会議事録

《日時》

令和3年3月1日（月）13時30分～14時40分

《場所》

山形県自治会館602会議室

《出席委員》（※会長、副会長、委員名簿順）

鈴木喜代壽委員（会長）、黒澤利宏委員（副会長(部会長)）、阿部英弥委員、
奥山恵治委員（代理：鹿俣貴裕氏）、工藤真理委員、庄司里沙委員、
丹野善将委員（代理：細川江里子氏）、長谷川正芳委員、原田周子委員
計9名

《産業部会》

1 開会

2 あいさつ（黒澤部会長）

3 議事（座長：黒澤部会長）

(1) 報告

- ① ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について
【各委員】（資料1により報告）
【事務局】（欠席委員報告分について、資料1により報告）

(2) 協議

- ① 令和3年度「ごみゼロやまがた県民運動」（職場編）展開方針（案）について
【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【鹿俣貴裕氏】

1人1日当たりのごみの排出量915グラムの内訳を教えてください。

【事務局】

家庭からでる生活系ごみと、事業者からでる事業系ごみとを合わせて、一般廃棄物全体を県民の人数で割ったものになります。概ね半々にはなりませんが、家庭と職場の両方で取り組む必要がある。

【鹿俣貴裕氏】

SDGsのマークについて、紙ゴミがあるので15番の「陸の豊かさを守ろう」や、県民運動で あることから17番の「パートナーシップ」も入れたらいいのではないかと。

「会議でのペットボトル飲料の使用を控えましょう」とあるが、コロナ禍により、逆にペットボトル飲料を出さないといけない状況になっている。お客様を訪問した場合、飲み物（お茶）を出さないのが了承くださいというのが多いが、出すところは、小さいペットボトル飲料を出しそのまま持ち帰る対応をしている。

【阿部委員】

私も鹿俣さんと同じ意見で、コロナ禍で普通にお茶が出せない環境が続き、逆にペットボトル飲料の方にシフトしている状況であると思う。そのことからリユースの項目の「マイボトル（水筒）持参でペットボトルの使用を減らしましょう」となっていて、感覚的によくわからないということと、ペットボトルは比較的にリサイクル率も高かったと理解していた。もう少し検討いただきたい。

【黒澤部会長】

県民運動（職場編）の展開方針案については、私に一任いただき事務局と調整のうえ前向きに修正を行い、総会に提出することとしてよいか。【全委員了解】

【各委員】

異議なし（了承）

② 令和3年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について

【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【長谷川委員】

1人1日当たりのごみ排出量915g、全国18位は、どこが調査して発表しているのか教えていただきたい。

【事務局】

環境省で、毎年度、一般廃棄物実態調査として実施している。例年4月頃に公表されている。

【長谷川委員】

全国ベースでよくテレビでしている、餃子の消費量日本一、栃木県、岡山県とかのような切り口で検討してはどうか。10月開催のやまがた環境展で、テレビなどの媒体を大幅に使い、山形県は18位が県民皆さんのがんばりで、10位以内になるような啓蒙をしていくこともよいと思う。学校、子供たち、職場、企業でも、ゴミ一つ出さないようにちょっとだけみんながんばっていただき、10位以内になったよと啓蒙ができるよう、ぜひ検討いただきたい。

【事務局】

意見も参考としながら、事業展開を考えていきたい。

【庄司委員】

ごみゼロやまがた県民運動キャンペーンについて、現在、コロナ禍で自粛活動が続いており、商業施設で実施できない場合も想定して、他の啓蒙活動、メディア、ウェブなどの方法も検討いただいた方がよいのではないかと。

【事務局】

現段階では、商業施設で実施する予定としているが、今年度のように感染拡大

が収まらない場合や、専門家から中止した方がよいとの助言があった場合は中止もあり得る。

【庄司委員】

県庁1階のジョンダナホールでの啓蒙・啓発とあるが、県民が実際に県庁のロビーにくることも多くないので、検討いただきたい。

【事務局】

先週開催の県民部会からも意見をいただいたので、県庁だけではなく総合支庁でもできないか検討することとしている。

【鹿俣氏】

ごみゼロやまがた県民運動キャンペーンで、ゴミゼロの日（5月30日）にゴミになるチラシなどを配布することには、ちょっと違和感がある。このチラシにちゃんとリサイクルしてねと書くとか、ごみにならないようなものを配布するのならわかるが、工夫されていることがあれば伺いたい。

【事務局】

周知方法については、現在策定中の次期山形県循環型社会形成推進計画でもネット媒体で見られるようペーパーレスを中心に考えていたが、紙（チラシ）もある程度必要だとの意見等もあり、紙もペーパーレスも両方で、周知活動をしていくこととしている。

キャンペーンの配布物は、ごみゼロやまがた推進BOOKなど捨てられない工夫をしており、今後とも、捨てられないよう資料の中身を工夫して対応していきたい。

【黒澤部会長】

来年度のごみゼロやまがた県民運動の活動内容については、概ねこれ沿った形で総会への提出することによいか。【全委員了解】

【各委員】

異議なし（了承）

(3) その他

【事務局】（資料4により、第1回産業部会で委員から意見を聴取した「第3次山形県循環型社会形成推進計画」策定にあたっての委員の意見と対応についての説明）

4 その他
なし

5 閉会